

『日本アルコール・薬物医学会雑誌』 第34巻 (1999年 平成11年) 総目次

■ 総 説 ■

- 依存と強迫 中澤恒幸 27 (1号)
“Gateway Drug” 概念について 和田 清 95 (2号)
アルコールによる肝微小循環障害
竹井謙之、佐藤信紘、鎌田武信 107 (2号)

■ 原 著 ■

- 中学生における飲酒 -飲酒文化の反映- 和田 清 36 (1号)
エタノールの胆嚢平滑筋収縮抑制作用の異なったメカニズムについて -ヒスタミン収縮とアセチルコリン収縮の場合の相違-
増井秀久、若林一郎、小泉直子 49 (1号)
家族要因とアルコール問題を持つIdentified Patient (IP) の断酒・飲酒との
関連 -家族機能、共依存、家族グループ・自助グループ参加などの要因を中
心にして-
西川京子、立木茂雄、橋本直子、横山登志子、安川友加里 63 (1号)
アルデヒド脱水素酵素2の遺伝子型とアルコール飲料の嗜好性との関連
石橋徳雄、原田勝二、藤井千枝子、田口文子、石井照周 117 (2号)
動因喪失症候群を呈した有機溶剤乱用の一例
北林百合之介、上田英樹、松田 幹、成本 迅、
小林豊生、福居顯二 130 (2号)
大酒家剖検肝におけるMallory体の消退に関する臨床病理学的検討
岩場晶子、岸 昌哉、中沢裕貴、尾形靖一郎、小池淳樹、
相田芳夫、前山史朗、打越敏之 153 (3号)
アルコール性肝炎症例における末梢血Fas抗原 (CD95) 陽性T細胞サブセット
の測定 石丸博明 161 (3号)
左特発性大腿骨頭壊死により人工骨頭置換術をうけた男性アルコール依存症
の一例
谷 直介、岡 正悟、早川滋人、北林百合之介、福居顯二 173 (3号)
アルコール依存症におけるセロトニンレセプターの遺伝子型 (HTR2 MspI
polymorphism)
吉原英児、岩橋和彦、飴野 清、飴野節子、中村和彦、
伊藤正裕、井尻 巖、原田勝二 459 (5号)

高校生における違法性薬物乱用の調査研究

鈴木健二、村上 優、杠 岳文、藤林武史、武田 綾、

松下幸生、白倉克之 465 (5号)

コカインおよびメタンフェタミンの致死作用に対するエタノール及び心血管系作用薬

早瀬 環、山本淑子、山本啓一、阿比留仁、西谷陽子、

福井有公 475 (5号)

アルコール慢性投与マウスの脳内アセトアルデヒドアダクトについて

中野太郎、中村和彦、洲脇 寛、伊藤正裕、飴野 清、

伊東恭子、岩橋和彦 549 (6号)

アルコール依存症患者の離脱後の精神・身体症状について

—退行期うつ病との比較—

小林豊生、早川滋人、松田 幹、土田英人、葉賀 弘、

谷 直介、福居顯二 558 (6号)

[目次一覧へ戻る](#)